

吉野川市立西麻植小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 139名
- ② 校訓 親和
教育目標 「いのち ところ なかま」
— 確かな学力を身につけた、
たくましい子どもの育成 —
 - よく考える子
 - 心身共にたくましい子
 - 思いやりのある子



2 行動方針

みんなでエコライフ！！

学校・家庭・地域が連携したエコプロジェクト

～節電・分別・リサイクル 環境を大切にする子どもづくり～

- 1年 みずをだしっぱなしにしない。
- 2年 水を出しっぱなしにしないようにする。
- 3年 人がいない時は、こまめに電気を消そう。
- 4年 リユースしてゴミをへらそう。
- 5年 雑紙をためて古紙回収に出そう。
- 6年 節水・節電を心がけよう。

- 節電・分別・リサイクルに取り組み、自ら考え、行動できる子ども
- 学校・家庭・地域が連携し、環境保護を実践する学校

3 行動

① レッツクリーン活動



② 第1回古紙回収



③ 530(ゴミゼロ)運動



④ 第1回西麻植駅清掃



⑤ 第1回アルミ缶回収



⑥ 愛校奉仕作業



⑦ 第2回アルミ缶回収



⑧ 第2回古紙回収



⑨ 第2回西麻植駅清掃



⑩ 5年環境学習



イメージキャラクターによるエコライフの呼びかけ(その2)



⑭ 環境ISOコーナーの設置



環境ISOイメージキャラクター募集(その2)



⑪ 6年朝の清掃奉仕作業



⑬ 環境委員会によるエコライフの呼びかけ・校内掲示



⑯ 環境標語の募集・発表



⑫ イメージキャラクターによるエコライフの呼びかけ(その1)



⑮ 環境ISOイメージキャラクター募集(その1)



⑰ 電気使用量の推移



4 具体的効果

- ◆ 各学年の行動目標を児童の一人一人の思いを大切にしながら設定し、パネルで正面玄関に掲示したことにより、自分たちのこととして行動しようとする心構えができた。
- ◆ イメージキャラクターや環境標語をすべての児童が考え、環境委員会の児童が中心となって選んだことにより、身近なこととして意欲的に取り組めた。
- ◆ ホームページにイメージキャラクターを掲載し、保護者・地域等への啓発・学校理解の一助となった。
- ◆ 環境ISOコーナーを設けたり、イメージキャラクターや環境標語を校内に掲示したことによって、環境についての認識が深まりつつあり、学校の訪問者に対しても広報となった。
- ◆ 節電や節水について児童の意識が高まり、 unnecessaryな電気を消したり、水の出しっぱなしが少なくなってきた。
- ◆ 6年生が朝の清掃をすることによって、最高学年としての自覚ができ、下の学年もそれを見習おうとし、学校環境が美しくなるとともに伝統となってきた。
- ◆ 紙や電気を大切にしようとする教職員の意識がより高まり、普通教室を中心に空調設備が整ったものの消費量は想定より少なかった。
- ◆ 古紙回収に出される分量が、昨年比べて増えている。

5 改善点

- ◆ 活動についての反省点・改善点等を児童・教職員ともに認識し、より効果的・具体的な方策をたてて行動する。
- ◆ 成果やのびを目に見えるようにした掲示や記録を工夫する。
- ◆ 内部評価をより充実させ、学年当初から計画的に組織・運営する。
- ◆ 西麻植小学校の特色ともなっている地域との連携を広報等でより深める。